



カケハシ・プロジェクト（米国） スポーツ（柔道）招へいの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】米国の柔道関係者（社会人）3 名が、柔道を通じた多様な交流による日米相互理解の促進を主目的として、10 月 7 日から 10 月 13 日までの日程で訪日しました。一行は東京都、宮崎県大分県を訪問し、地域住民との交流・対話を通じて日本の魅力を体感するとともに、滞在の成果を SNS 等で発信しました。

【参加者】米国の柔道関係者（社会人）合計 3 名

【訪問地】東京都、宮崎県、大分県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10 月 1 日（水曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

10 月 7 日（火曜日） 羽田空港より入国

【来日時オリエンテーション】

10 月 8 日（水曜日） 【視察】東京国立博物館

【視察】日本オリンピックミュージアム

【視察】明治神宮

【スポーツ交流】講道館

10 月 9 日（木曜日） 東京都から宮崎県へ移動

【表敬訪問】延岡市 丸山 真二 教育部長

【文化体験】茶道体験（延岡城・内藤記念博物館内）

【ホームステイ対面式】

10 月 10 日（金曜日） 【ホームステイ】延岡市

【学校交流】延岡学園高校 柔道部

10 月 11 日（土曜日） 【学校交流】延岡学園高校 柔道部

（オリンピック金メダリスト 内柴 正人 氏の直接指導含む）

宮崎県から大分県へ移動

10 月 12 日（日曜日） 【視察】海地獄

大分県から東京都へ移動

【視察】柔道用品専門店 株式会社九櫻

10月13日（月曜日） 【ワークショップ】 報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

【報告会】 訪日成果・帰国後の活動計画発表
羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
10月8日【視察】東京国立博物館	10月8日【視察】日本オリンピックミュージアム
	
10月8日【スポーツ交流】講道館	10月9日【表敬訪問】 延岡市 丸山 真二 教育部長
	
10月9日【文化体験】茶道体験	10月9日【ホームステイ】延岡市

	
10月10日【学校交流】延岡学園高校 柔道部	10月11日【学校交流】延岡学園高校 柔道部
	
10月13日【報告会】	10月13日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

今回のプログラムで最も印象に残ったのは出会った人々です。私たちを歓迎してくださり、皆さんの優しさや献身、おもてなしが日本文化を体現していると感じました。また柔道の稽古や練習に参加し、レベルの高さに感銘を受けました。日本人のスポーツに取り組む姿勢には大変驚きましたし、私も柔道だけでなく毎日の生活においても、今後その姿勢を見習っていきたいと思いました。

◆ 社会人

今回のプログラムの全てがとても楽しかったです。人生最高の経験でした。ありがとうございます。

◆ 社会人

本日の講道館での訪問は、大変謙虚な気持ちになると同時に、深く感銘を受けるものでした。最高レベルの柔道家の規律と精度を間近で体験することで、柔道の奥深さと哲学に対する理解が一層深まりました。

また、柔道の起源と嘉納治五郎師範の理念に関する講義は、特に印象に残りました。

柔道が単なる武道としてではなく、人間形成や相互尊重、そして絶え間ない自己修養の道として創設されたことが強調されており、心に響きました。

本日学んだ教えを今後の日常生活の中で実践し、自身の道場で次の世代の柔道家たちにも伝えていきたいと考えております。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

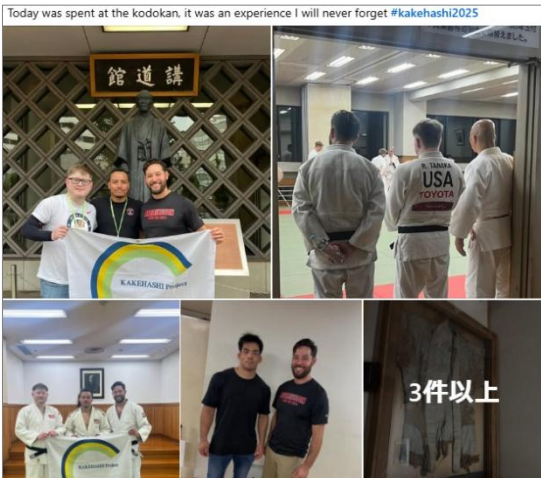
◆ ホストファミリー

短期間の滞在でも、自然豊かな地域を味わってもらいたく、船で離島に渡り新鮮な海鮮料理を味わい、歴史を探索しながら過ごしました。緊張することなくそれぞれの文化等を交流することができました。

◆ 交流先関係者

日本発祥の伝統文化である柔道を世界の文化として、より一層普及振興を図るため、参加者の皆様に講道館柔道を知っていただく良い機会になりました。今回のプログラムで学んでいただいたことを母国での活動やご自身の柔道修行に活かしていただけますと幸いです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2025 年 10 月 8 日（Facebook） 今日は、講道館での練習に参加しました。生涯忘れられない経験をしました。	2025 年 10 月 10（Facebook） 延岡市から歓迎を受け、延岡城で茶道体験しました。
	
2025 年 10 月 12 日（Instagram） 海地獄の景色をリール動画で紹介	2025 年 10 月 21 日（ケーブルメディアワイワイの YouTube） 「柔道で交流 米柔道家が高校の柔道部と合同練習」

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、宮崎県 全1グループ発表

		
【成果の発表】 ◆ 訪日中の学び 日本の人々は親しみやすく、心のこもったおもてなしをしてくれました。また柔道交流を通じて真剣に取り組む姿や謙虚な姿勢を学びました。 ◆ 個人的展望 コーチングの技術を磨き続け、さらに発展させること、「自他共栄」の理念を通じて若い世代に刺激と影響を与えること、他の文化に心を開き常に受け入れること、世界中の人々とつながりを築き続けることに取り組んでいきたいと思います。 【アクション・プラン】 ・ 地域の柔道・柔術クラブにて、日本で学んだ練習を実施し、その後ホームステイで楽しんだBBQをします。またカケハシ・プロジェクトについても共有します。 ・ 青少年のために校外学習を企画、実施します。また、親切さ、敬意、感謝の心を自ら示し、模範となって柔道を教え続けます。 ・ 柔道、寺院、太鼓、日系学生会など、私に関わる日系米国人の組織に向けて発表を行い、日本文化から得た学びを日常生活に活かします。また、道場の次世代の柔道家たちに向けて、自らが模範となるよう努めます。		

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）